

平成27年度

名勝 小金井桜の会

総会議(案)書

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 巻頭言ーこの一年を振り返って | 1ページ |
| 2. 平成26年度 会員の推移 | 2ページ |
| 3. 平成26年度 活動報告 | 3ページ |
| 4. 平成26年度 決算報告 | 4～6ページ |
| 5. 平成27年度 役員 | 7ページ |
| 6. 平成27年度 予算 | 8～9ページ |
| 7. 平成27年度 活動計画 | 10～11ページ |
| <参考資料> 名勝小金井桜の会 会則 | 12～15ページ |

平成27年5月16日

<http://koganeizakura.com/>

検索：名勝小金井桜の会

この一年を振り返って

名勝 小金井桜の会 会長 石田 精一

◎ 名勝小金井桜復活事業

平成22年にスタートした3年間のモデル地区の整備事業は、3年間継続実施されて平成25年2月に終了しましたが、その後の計画実施についてはモデル地区整備の結果の検証が必要であるとのことから見送りとなり、平成25年度は新小金井橋～茜屋橋間の右岸の欠損部分への補植のみが行われることとなり、当会の育成した苗木26本が植栽されました。しかしその後の維持管理の東京都の指示が適切でなく、雑草が繁茂し蔓が苗木に巻きつくなどの状況が発生して、当会から東京都に改善を要望する事態になりました。

一方26年度以降の事業についてはその実施が危ぶまれていましたが、最終的には小金井市が東京都に提出した「関野橋から梶野橋の間の整備計画」の実施が認められ、第1区150m余りの区間について工事が着工され、高木の伐採と当会提供の18本の苗木の植栽が終了しました。27年度は第2区約100m、28年度は残りの第3区150m弱の工事が予定されています。この計画が予定通り進行することを切望しております。

◎ 樹勢調査報告書

昨年(平成25年)度の樹勢調査は、NPO 法人東京樹木医プロジェクトの全面的なご協力を得て実施し、調査結果の分析・取り纏めも含めて同法人の指導・監修をお願いして報告書を作成しました。

今年はこの報告書の内容を広く知っていただき名勝小金井桜の実情をご理解いただくため、印刷製本して会員を始め関係諸機関の関係者に配布しました。

◎ 育苗ファーム

今年最大の難関は育苗ファームの移設でした。市から貸与されていた苗畑が、地主さんの突然の逝去により急遽年度末までに返還することとなりました。代替地の確保について奔走させられましたが、最終的に小金井市のご努力により小長久保公園内に用地が確保され、苗畑の用地として桜の会に提供されることとなりました。

新苗畑の用地は旧第1ファームの約1/3の面積なので、これまで育成してきた全ての苗木を移植することは出来ず、今後の植栽計画を勘案してぎりぎり80本の苗木を移植することとし、残りの苗木は処分するほかないという状況になりました。最終的には市の関係先に23本、その他市報のお知らせを見てファームに来られた市民などに30本程の苗木を差し上げることができましたが、残りの苗木は残念ながら処分せざるを得ませんでした。

さくらんぼ拾いや種まきイベントに参加してくれた子供さんたち、育ての親として苗の生育を見守って下さった方々の想いのこもった苗木の全てを、最終目的地である玉川上水の両岸に植えることができなかつたことは残念でなりません。

私たちは名勝小金井桜が名勝の名にふさわしい状態に整備されて、往時の名勝小金井桜が復活する日の到来を切望しています。今後の道も決して平坦なものではないと思いますが、会員一同心を合わせ、小金井市・東京都の関係部署との連携を密にし、協働してその目的の達成に努めたいと思います。

平成26年度 会員の推移

	個人 会員		団体会員	顧問
	正会員	賛助会員		
平成26年4月1日現在	74名	4名	1団体	4名
平成26年度中の入会者	7名			
退会者	10名	1名		
平成27年4月1日現在	71名	3名	1団体	4名

平成27年度 会員名簿（敬称略 役員・あいうえお順 下線は26年度新入会員の方）

1	石田 精一	小金井市
2	富山 日出夫	武蔵野市
3	鏑山 英次	小金井市
4	西岡 真一郎	小金井市
5	小沼 廣和	小金井市
6	植竹 隆夫	小金井市
7	村山 秀貴	小金井市
8	田嶋 清二	小金井市
9	北村 佳代子	小金井市
10	小迫 悦子	小金井市
11	岩間 博昭	小金井市
12	大崎 硬平	西東京市
13	杉山 利男	小金井市
14	小迫 邦彦	小金井市
15	小林 満	小金井市
16	袴田 保男	小金井市
17	池 和子	小金井市
18	石井 利一	小金井市
19	石井 洋子	小金井市
20	石田 いく子	小金井市
21	伊藤 正義	小金井市
22	井土 久江	小金井市
23	井上 征志	小金井市
24	岩井 一雄	練馬区
25	岩間 明子	小金井市
26	上床 道子	小金井市
27	漆原 博子	小金井市
28	遠藤 敦人	小金井市
29	遠藤 百合子	小金井市
30	太田 和秀	小平市
31	大濱 禎三	練馬区
32	<u>大森 有妥子</u>	<u>西東京市</u>
33	奥田 美佐子	小金井市
34	落合 正道	武蔵野市
35	加賀崎 睦男	小金井市
36	風間 裕一	西東京市
37	<u>川勝 美代子</u>	<u>小金井市</u>
38	神田 正士	小金井市
39	<u>岸 道子</u>	<u>西東京市</u>
40	木村 基成	小金井市
41	草間 春子	小金井市
42	功刀 照子	小金井市
43	小島 イミ	小金井市
44	小島 秀治	小金井市
45	児島 寿美滋	小金井市
46	小林 正樹	小金井市
47	下田 勤	小金井市
48	島根 茂	小金井市
49	<u>杉本 和子</u>	<u>小金井市</u>
50	須永 治栄	国分寺市
51	関 ハル	小金井市
52	関根 優司	小金井市
53	竹前 直子	小金井市
54	田城 直邦	小金井市
55	谷内 千恵子	小金井市
56	友森 和子	小金井市
57	中木 證蔵	府中市
58	中原 修	国立市
59	中山 克己	小金井市
60	根津 光治	東久留米市
61	萩野谷 トヨ子	小金井市
62	橋田 英彦	小金井市
63	日並 洋一	小金井市
64	藤村 英明	小金井市
65	<u>宮川 和幸</u>	<u>小平市</u>
66	三宅 章	小金井市
67	持田 郁子	小金井市
68	<u>八重樫 信治</u>	<u>北上市</u>
69	<u>柳澤 満</u>	<u>小金井市</u>
70	矢部 多貴	小金井市
71	横井 喜美江	小金井市
72	四元 克志	小金井市
73	渡邊 忠	小金井市
74	渡邊 ふき子	小金井市
101	北上さくらの会	北上市
102	亀山 章	日野市
103	浅田 信行	新宿区
104	大石 学	武蔵野市
106	和田 博幸	杉並区

平成26年度 活動報告

- 4月 小金井桜開花調査（3月中旬～4月中旬）
観桜会（5日）
次期接ぎ木苗のための古木選定－2回目（11日）
- 5月 カブトムシ育ての親イベント（11日）
26年度年次総会（17日）
- 6月 第16回小金井桜写真展（5月30～6月1日）
- 7月 関野橋～梶野橋間の小金井市26年度補植場所現地調査（9日）
- 8月 カブトムシ成長観察会+交換会イベント（2日）
第2育苗ファーム苗木の和田顧問による鑑定（8日）
第13次樹勢調査（9日）
小平市域26年度小金井桜補植計画の住民説明会に陪席（19日）
- 9月 小金井市26年度小金井桜復活整備計画の住民説明会（25日）
小平市域26年度小金井桜補植計画の現地確認に参加（30日）
- 10月 さくら基金募金+活動紹介 新規パンフレット作成・配布
第12次樹勢調査報告書の製本版を作成・配布
「小金井市民まつり」出店（18, 19日）
- 11月 都立多摩科学技術高校への苗木2本贈呈
第11回落葉回収作戦（29日）
- 12月 第22回玉川上水緑の保全事業連絡協議会に出席（25日）
- 1月 会報創刊号発行（会員及びさくら基金応募者向け）
育苗ファーム返還要請を受け対応協議
- 2月 気仙沼大島「みらいの桜」PJ講演会（1日）
フィールドワーク時に新ファームへ移植する苗木選定（28日）
- 3月 第2育苗ファーム苗木の気仙沼大島への全数出荷（3日）
気仙沼大島「みらいの桜」PJ現地植樹祭（7日）
第1育苗ファーム代替候補地(小長久保公園)現地確認（11日）
新育苗ファームへの苗木移植計画について市との協議（13～16日）
小長久保公園ファームへの苗木移植及び活用先への苗木配付（23～26日）
第1育苗ファームの残留物処分・整地（28日）

註：アンダーラインの事項は、NPO法人小金井桜を復活する会との協働・共催

平成26年度 決算報告 (1/3)

一般会計 決算報告書


26.4.1~27.3.31

	科 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
収入の部	前期繰越	323,831	323,831	0	
	会費	150,000	144,000	△ 6,000	2,000×64 1,000×4 2,000×5 2,000×1
	預金利息	100	30	△ 70	
	雑収入	1,000	13,800	12,800	寄附金 11,000 書籍販売 2,800
	計	474,931	481,661	6,730	
支出の部	事業費	200,000	281,443	81,443	樹勢調査 223.900 落葉回収 24.717 パネル代 28.055
	通信費	40,000	39,876	△ 124	
	事務費	100,000	41,494	△ 58,506	総会資料 16,000-インク・ コピー用紙他
	保険料	40,000	31,000	△ 9,000	ボランティア保険23,400 +7600
	予備費	94,931	20,727	△ 74,204	生花 16,000 振込手数料他
	計	474,931	414,540	△ 60,391	
	次期繰越	0	67,121	67,121	
	計	474,931	481,661	6,730	

以上の通り報告します

平成27年5月 2日

名勝 小金井桜の会

会長 石田精一 

財務 田嶋清二 

財務 北村佳代子 

平成26年度決算報告を監査したところ適正に処理されていることを確認しました

平成27年5月 2日

監事 岩間博昭 

監事 大崎硬平 

平成26年度 決算報告 (2/3)

事業会計 決算報告書

26.4.1~27.3.31

	科目	予算	決算	増減	摘要
収入の部	前期繰越	157,368	157,368	0	
	事業収入	50,000	177,721	127,721	市民まつり売上
	預金利息	0	22	22	
	計	207,368	335,111	127,743	
支出の部	事業費	30,000	162,792	132,792	市民まつり酒代 135,648 出店料 16,200 その他
	活動費	30,000	0	△ 30,000	
	通信費	0	0	0	
	事務費	0	0	0	
	予備費	7,368	108,432	101,064	樹勢調査製本代 108,000 振込手数料 他
	ホームページ関連費	140,000	137,459	△ 2,541	ホームページ 120,000 ドメイン更新 17,459
	計	207,368	408,683	201,315	
	次期繰越	0	△ 73,572	△ 73,572	
	計	207,368	335,111	127,743	

以上の通り報告します

平成27年5月 2日

名勝 小金井桜の会

会長 石田精一

財務 田嶋清二

財務 北村佳代子



平成26年度決算報告を監査したところ適正に処理されていることを確認しました

平成27年5月 2日

監事 岩間博昭

監事 大崎硬平



平成26年度 決算報告 (3/3)

さくら基金会計 決算報告書

26.4.1~27.3.31

	科 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
収入の部	前期繰越	13,644	13,644	0	
	さくら基金	50,000	403,855	353,855	30口 403,550 店頭募金 305
	預金利息	100	19	△ 81	
	計	63,744	417,518	353,774	
支出の部	事業費	50,000	137,045	87,045	桜苗移植費 39,650 パンフレット印刷 97,395
	通信費	0	12,867	12,867	会報送料 12,457 その他の送料 410
	事務費	0	0	0	
	予備費	13,744	1,188	△ 12,556	
	計	63,744	151,100	87,356	
	次期繰越	0	266,418	266,418	
	計	63,744	417,518	353,774	

以上の通り報告します

平成27年5月2日

名勝 小金井桜の会

会長 石田精一



財務 田嶋清二



財務 北村佳代子



平成26年度決算報告を監査したところ適正に処理されていることを確認しました

平成27年5月 2日

監事 岩間博昭



監事 大崎硬平



平成27年度 役員

平成26年度 役員名簿

平成26年4月1日～平成27年3月31日

平成27年度 役員名簿

平成27年4月1日～平成28年3月31日

名誉会長	大久保 慎七		
会長	石田 精一	石田 精一	
副会長	富山 日出夫	—	
副会長	鏑山 英次	鏑山 英次	
副会長	西岡 真一郎	西岡 真一郎	
副会長	小沼 廣和	小沼 廣和	
事務局長	植竹 隆夫	植竹 隆夫	
事務局	村山 秀貴	村山 秀貴	
事務局			
財務	田嶋 清二	田嶋 清二	
財務	北村 佳代子	北村 佳代子	
総務	小迫 悦子	小迫 悦子	
監事	岩間 博昭	岩間 博昭	
監事	大崎 硬平	竹前 直子	
苗木プロジェクト技術顧問	杉山 利男	杉山 利男	
吉野プロジェクト・リーダー	大崎 硬平	—	
桜川プロジェクト・リーダー	小迫 邦彦	—	
北上プロジェクト・リーダー	小林 満	—	
育苗ファーム担当	袴田 保男	—	
広報(ホームページ担当)		杉本 和子	
広報(会報担当)		岩間 博昭	
.....			
顧問(農工大名誉教授)	亀山 章	亀山 章	
顧問(学芸大教授)	大石 学	大石 学	
顧問(桜の会事務局長)	浅田 信行	浅田 信行	
顧問(花の会主任研究員)	和田 博幸	和田 博幸	

平成27年度 予算-1/2

一般会計（昨年度までの事業会計を包含）

【収入の部】

繰越金		△6,451 円
会費		143,000 円（正会員：69名、賛助会員：5名）
苗木出荷代	小金井市	144,000 円（26年度分 18本）
	小金井市	374,000 円（27年度分 15+7本 *註1 ）
	気仙沼大島	20,000 円（26年度分 100本、第2ファーム借用代相殺）
	気仙沼大島	260,000 円（27年度分 100本、大島での仮植代相殺）
さくら基金会計より借入		120,000 円（ *註2 ）
合計		<u>1,054,549 円</u>

【支出の部】

育苗ファーム移転経費		766,649 円（杉山造園、宮崎園、関建設工業）
小計		<u>766,649 円</u>
活動費	小金井桜写真展	5,000 円
	樹勢調査	30,000 円（東京樹木医PJの費用見込まず）
	落葉回収作戦	30,000 円
	市民まつり	0円（実績から収支トントンと見做す）
	育苗ファーム運営費	30,000 円（育成管理費、活動補助費）
事務費	ホームページ運営費	50,000 円（更新は年3回に限定）
	会報発行費	50,000 円（12,500円×4回）
	他	30,000 円（総会・例会資料作成費等）
通信費		10,000 円
保険料		25,000 円（ボランティア保険等）
予備費		27,900 円
小計		<u>287,900 円</u>
合計		<u>1,054,549 円</u>

***註1** 小金井市への27年度分出荷苗木の単価設定について

上記の「育苗ファーム移転経費：76.7万円」については、地主さんの死去による苗畑の返還要請に伴う支出というやむを得ない経費であるが、本来行政との協働事業である苗木育成のための費用であり、小長久保公園新育苗ファームに移植した苗木の提供単価を改定して回収を図る（今後出荷先の各行政機関に通知・交渉）。

- ・ファーム移転経費負担上乗せ額の算定

$$766,649 \text{ 円} \div 81 \text{ 本} = 9,465 \text{ 円/本} \Rightarrow 9,000 \text{ 円/本と設定}$$

- ・改定苗木単価 現状：8,000 + 9,000 = 17,000 円/本

***註2** 赤字補填のため「さくら基金」から120,000円充当

育苗ファーム移転経費の予算外出費が生じたためであり、これを苗木育成に掛かる費用の一環として、「さくら基金」から充当する。

平成27年度 予算-2/2

さくら基金会計

【収入の部】	繰越金	266,418 円
	応募金	200,000 円（見込み）
	合 計	<u>466,418 円</u>
【支出の部】	育苗ファーム移転経費一部負担 （一般会計の不足分補填）	120,000 円
	育苗ファーム資材購入	150,000 円（物置、散水ホース他）
	予備費	196,418 円
	合 計	<u>466,418 円</u>

平成27年度 活動計画

計画立案に当たっての基本方針

27年度は、26年度末に発生した育苗ファームの移転という突発事象に伴い、前項の予算案で示したとおり大変厳しい資金事情を前提にして活動計画を立案せざるを得ない状況である。そのため緊急措置として暫定的に以下の措置を講じ、逐次、収支状況を睨みながら会を運営・活動する。

- ①以下の年間計画をベースに、3カ月ごとに収支をチェックしつつ、次の3ヶ月の行事予定を例会で確認して実施。
- ②予定外の支出は原則なし（必ず事前確認実施）。
- ③出費を伴う行事の実施に当たっては、節約に努め、速やかに個別決算を行う。

定例会の開催（毎月）

- ・毎月第3土曜日午前10時から小金井市文化財センターで例会を行い、会の活動状況について“報連相”を行い、課題を討議し情報共有するとともに、小金井桜の復活のため学習する。
- ・毎月第1土曜日午前10時から「育苗ファーム」においてNPO法人小金井桜を復活する会と合同でフィールドワークを行う。

名勝 小金井桜 定期パトロール

- ・衰退が著しい既存の名勝小金井桜及び補植した桜苗木の現状につき、定期パトロールによりチェックしレポートにまとめ、適正な生育管理を行政と協働で行う。

名勝 小金井桜復活の植樹に必要な苗木の育成事業

- ・玉川上水堤に名勝 小金井桜後継樹を植樹するため、必要な苗木の育成、育苗ファームの運営を行う。
- ・名勝 小金井桜の復活に向けての植樹計画の全体像を行政と協働で作成する。

さくら基金の募集

- ・厳しい財務状況にあることも踏まえ、名勝 小金井桜「さくら基金」の広報活動を積極的に展開し、イベント時における募金活動を展開する。

第17回小金井桜写真展の開催

- ・「みどりセンター祭り」に写真展として参加し、優秀作品を表彰して小金井桜の素晴らしさを内外にアピールする

第14回小金井桜の樹勢調査の実施（7月から8月）

- 小金井桜の名勝指定区間の主要部について毎木樹勢調査を夏の時期に実施し、現在おかれている小金井桜の実態と近年の衰退状況の推移を明らかにして内外に発信する。
- なお今年は予算事情に鑑み、ここ数年指導・協力を仰いできたNPO法人東京樹木医プロジェクトの参加は要請しない。

小金井「市民まつり」への参加

- 小金井公園で開催される『市民まつり』に出店し、会の活動についてアピールするとともに小金井桜にゆかりの物品販売を行い、活動費の一助とする。

第13回落ち葉回収作戦の開催（11月）

- ややもすれば近隣住民の迷惑物になっている玉川上水堤の落ち葉を、市内の小金井桜復活に賛同する各種団体と協力して回収する「落ち葉回収作戦」を主催することにより、清掃活動の実利とともに桜への関心が薄くなる晩秋に小金井桜及び当会のPRの一助とする。

会報の発行とホームページの充実

- 会員及びさくら基金への募金者間の情報共有に資するため、定期的（年4回季刊発行を目的）に会の活動状況を連絡する会報を発行する。
- 小金井桜の歴史と復活に向けての活動を対外的にアピールするため、ホームページの内容を充実させる。但し27年度は、厳しい予算状況に鑑み、年3回（5月、9月、3月）の集中更新に限定する。

学習会・懇談会・講座等の開催（適宜）

- 小金井桜の復活に向けて日本さくらの会・日本花の会等の協力を得て、桜に造詣の深い有識者を講師に迎え、学習会・講演会を行う。
- 市議会議員をはじめ各種団体役員との懇談会を開催し、小金井桜復活へ向けての理解と協力を図る。
- 一般都民を対象に小金井桜の歴史と再生に向けての講座・シンポジウムを開催し、会員の加入促進と啓発活動を行う。

名勝小金井桜の会会則

（名称）

第1条 本会は、名勝 小金井桜の会と称する。

（連絡場所）

第2条 本会の連絡場所は、事務局内（小金井市本町4丁目19-8）に置く。

（目的）

第3条 本会は、大正13年12月9日付で国の「史跡名勝天然記念物保存法」第1条の規定に基づき名勝に指定された、歴史的文化遺産である小金井サクラのヤマザクラ並木を次代に適切に継承することを目的とする。

更新のための植栽に当たっては、その歴史的背景である奈良県吉野及び茨城県桜川の後継樹・「小金井桜」の後継樹及び岩手県北上市展勝地公園のヤマザクラ「小金井」の後継樹に限定するとともに、「小金井桜」の保存や管理の方法を通して会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。

（活動）

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1 「小金井桜の復活」を実現するため、「史跡玉川上水整備活用計画」による東京都並びに小金井市、などとの協働
- 2 樹勢低下等により危機的現状にある「小金井桜」の維持・管理
- 3 後継樹の育成・更新のための植栽
- 4 玉川上水周辺の環境整備促進
- 5 定例会、部会の開催
- 6 特定プロジェクトの推進
- 7 「小金井桜」及び「玉川上水」に関する講演会・研究会・交流会の開催
- 8 市民への啓発及び関係団体との連携
- 9 その他本会の目的に沿った活動

（会員）

第5条 会員は、前条の目的に賛同する者をもって構成する。

（賛助会員・団体・顧問）

第6条 本会に、賛助会員、賛助団体、顧問を置くことができる。

（役員構成）

第7条 本会に、次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 副会長 若干名
- 3 事務局長 1名
- 4 事務局 2名以上
- 5 総務 2名以上
- 6 財務 2名以上
- 7 広報 2名以上
- 8 監事 2名

(役員を選出)

第8条 会長、副会長、事務局長、事務局、総務、財務、広報、監事は、総会において選任する

(役員職務)

第9条 役員職務は次のとおりとする。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐する
- 3 事務局は、会務の執行を総括し、事務局を分掌する。
- 4 総務は、事務局を補佐し、庶務全般を分掌する。
- 5 財務は、財務を統括し、会計事務を分掌する。
- 6 広報は、本会の広報全般を分掌する。
- 7 監事は、本会の会計を監査する。

(任期)

第10条 役員任期は、1年とし、再任を妨げない。

(運営)

第11条 本会は、年一回の総会と定例会を中心に運営する。その他、必要に応じて役員会、部会、実行委員会、ワーキンググループを開催する。

(会計)

第12条 本会経理は、次のとおりとする。

- 1 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日で終わる。
- 2 運営経費は、会員の会費およびその他の収入等をもって充てる。
- 3 会員は、会費として年額2000円を納入しなければならない。
また、必要に応じて臨時徴収することができる。
- 4 賛助会員は、年額101000円以上、賛助団体は105000円以上納入するものとする。
- 5 会計年度終了後、監事により監査を受けたのち総会において会計報告を行う。

(施行細則)

第13条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改正)

第14条 本会則の改廃については、総会出席者の三分の二以上の賛成を要する。

付則

この会則は、平成19年6月16日から施行する。

付則

平成21年4月18日総会にて、第7条の役員数を〇〇名以上に改正。

平成21年4月18日総会にて、第12条の4「年額101000円以上」に改正。

平成 22 年 4 月 10 日総会にて；

第 4 条：項目順序を変更し、2 項目「「小金井桜の復活」を実現するため、・・・」及び「特定プロジェクトの推進」を追加、5 項に「部会」を追加。

第 6 条：「顧問」を追加。

第 7 条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「庶務」を「総務」、「会計」を「財務」に名称変更。

第 8 条：「名誉会長」「事務局長」「広報」を追加、「総務」「財務」に名称変更。

第 9 条：項目順序を変更し、6 項「広報」を追加並びに 4・5 項は「総務」「財務」に名称変更。

第 11 条：「部会」「実行委員会」「ワーキンググループ」を追加。

平成 26 年 5 月 17 日総会にて、事務局長の交代が承認されたことに伴い、第 2 条の連絡場所住所を変更。

平成 27 年 5 月 16 日総会にて、大久保慎七氏の死去に伴い名誉会長職を廃止。